



北アルプス広域連合

北アルプス広域連合広報紙 2024年3月31日発行  
北アルプス広域連合 長野県大町市大町1058-33  
北アルプス市町村会館内 Tel.0261-22-6764  
E-mail:kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

●大町市 ●池田町 ●松川村 ●白馬村 ●小谷村

# 北アルプス遊・交・学

<http://www.kita-alps.omachi.nagano.jp/>

vol.89



## 白馬村の絶景スポット 大出公園

白馬村大出公園は、JR白馬駅から歩いて15分ほどの大出地区にある公園です。一級河川姫川に架かる大出吊橋は、歩行者用の橋で、白馬の風を感じながら歩く人々にはとっておきの場所です。オススメのシャッタースポットは、園内の展望台。少し急な展望台の坂を歩いて上っていくと、一枚の風景画のような絶景が飛び込んできます。白馬三山、清流姫川、大出吊橋と公園の桜が見事です。白馬村を代表する観光名所のひとつとなっており、例年4月下旬が桜の見頃になります。



満開の桜と大出吊り橋

### 人口と世帯 北アルプス広域圏

(令和6年3月1日現在 長野県調べ)  
人口 54,901人  
世帯数 23,812世帯

### 主な内容

- 広域連合議会 11月・2月定例会
- 令和6年度当初予算について
- 広域連合からのお知らせ
- 北アルプスエリアイベントカレンダー



# 11月定例会開催

令和5年11月20日に11月定例会が開催されました。

11月定例会では事件案件1件、条例案件1件、予算案件4件の計6件の議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

## 損害賠償請求事件に係る和解について

消防救急無線設備整備工事談合に係る損害賠償請求の和解

## 条例の制定・改正について

北アルプス広域連合火災予防条例の一部を改正する条例制定について

## 令和5年度補正予算について

人事異動等、職員配置の変動に伴う人件費の調整のほか、主なものは次のとおりです。

### ▼一般会計（第2号）

消防費において、損害賠償請求事件訴訟弁護士業務委託料の計上、各署仮眠室個室化等改修の工事請負費の減

### ▼介護老人保健施設事業特別会計（第3号）

基金繰入による財源調整

### ▼介護保険事業特別会計（第2号）

### ▼老人福祉施設等事業特別会計（第2号）

## 一般質問（要旨・抜粋）

丸山 和之議員（白馬村）

### 【衝撃探知機能による誤通報について】

**問** スマホに追加された自動通報機能が原因での、誤った通報トラブルの現状は。

**答** 当消防本部では、令和4年12月中旬ごろから、スマートフォンやスマートウオッチに搭載されている自動通報機能による119番通報が急増した。この自動通報機能は、自動車事故などを想定し、強い衝撃が加わった後に一定時間操作されない場合、自動的に通報が発信される機能である。令和5年5月までの5ヶ月間に251件の自動通報があり、このうち交通事故による1件を除き250件が誤報によるもので、全体の約92%にあたる233件がスキー場内で発信されたことを確認している。

実際の通報内容は、合成された音声により緯度と経度及びその誤差範囲について、一方的に繰り返すものとなっている。このような状況を受けて各メーカーでは、基本ソフトウェアのアップデートを実施し、衝突検知の精度を改善したと報道されており、当消防本部では、令和5年5月から10月までの間、自動通報による119番通報は受信されていない。

### 【電気自動車の普及によるトラブルの現状と課題について】

**問** 普及率が増えることによる課題は。

**答** 国外では、時折、電気自動車の火災事故が報道され、リチウムイオン電池が持つ火災特性から、消火が困難であることが問題になっている。日本でも電気自動車に更に普及すれば火災の危険度は増し、消火が困難な火災特性への対策が課題となる。

総務省消防庁が令和3年に示した、次世代自動車事故等における消防機関の活動要領では、バッテリーを冷却するために大量の水で消火し、高温バッテリーの再燃を防ぐために、鎮火後、最低30分程度は多量の水をかけ続けるとされている。実際に国外で発生した電気自動車の火災では、放水による消火後に、バッテリーの自己発熱が続いて再発火し、その後水をかけ続けられない場合には、発火を繰り返すなど、消火には大量の水と長時間の放水を要し、消火の難さが顕在化している。最近では、車体に穴を開けて直接バッテリーに注水する消火システムや、車体に消火用ブランクセットをかぶせ、窒息消火により化学反応を抑制する対策器具が開発された。これらの消火効果及び安全性の検討を進め迅速かつ安全な消火対策を講じて行く。

### 【消防団との連携について】

**問** コロナ禍における消防団との連携は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の流行期には中止を余儀なくされた訓練や、内容を

制限して実施せざるをえない訓練もあった。当初、訓練機会の減少や内容を制限したことによる消防活動への影響が懸念されたが、5類感染症に移行した令和5年5月までに発生した火災において、実際の連携活動で支障が生じた事例はなかった。これは、コロナ禍以前の訓練により築かれた連携体制が、その後も各消防団により確実に実践されたものと考えられ、訓練が中止となった期間でも、各消防団では、感染対策を徹底した上で必要最小限の人数で基礎的な訓練を実施するなど、各団の努力により、連携活動が維持された。

5類移行後は、制約のない平常の環境のもとで総合訓練等を実施しており、引き続き、各消防団との連携体制を一層強化し最近の火災の傾向に対応して、消火技術及び安全管理の強化に取り組む、消防署、消防団それぞれの特性を活かした消防活動に努める。

中村 直人議員（大町市）

## 【介護保険事業について】

**問** コロナ禍の影響は。

**答** 新型コロナウイルス感染症は、令和2年初頭から全国で感染が拡大し、北アルプス圏域でも数多くの感染者が確認された。

管内の介護サービス事業所では、国からの感染マニュアル等を参考に、徹底した感染対策を講じてサービス提供に努めていただいたが、感

染の拡大とともに職員及び利用者の感染が確認されるケースが増え、一部の事業所では、事業を中止せざるを得ない状況も生じたため、利用者への通常のサービス提供が困難となった期間もあった。この間、広域連合では、事業所に対し感染症対策に係る周知を図り、幅広い相談への支援を行うとともに、感染防止対策等の研修会を開催したほか、発生時の対応マニュアルを作成するなど支援に努めた。また、感染防止対策が特に重要な訪問介護サービス事業所では、災害及び感染症等の発生時において、事業所が相互に支え合う仕組みを立ち上げ、当圏域内の事業所が相互に協力し、介護サービスが必要な利用者へのサービス提供が継続できるよう支援を実施した。

**問** 高齢者への対応とフレイル予防は。

**答** 自治会等で実施している、通いの場などの介護予防活動や地域の福祉活動は、

介護保険事業の地域支援事業として、市町村及び地域包括支援センターと連携し、普及啓発や活動に関わる補助等を行うなどの支援をしている。広域連合で実施している、生活支援体制整備事業は、地域に不足するサービスの創出や自治会活動など、高齢者の活動の場の支援を行う生活支援コーディネーターを各生活圏域に配置し、地域の住民団体等と連携して生活支援体制づくりを進めている。また、通いの場の実施や、自宅での生活上の困りごとに関わる支援などの支え合い活動に対する支援の一つとして、介護予防日常生活支援総合事業では、地域支え合い

活動に対する補助制度を活用して事業を実施する場合に補助金を交付している。

また、介護の担い手の創出としては、生活支援従事者等養成研修を実施しており、研修受講者の中には、すでに地域の支え合い活動に従事されている方もあり、徐々に地域の支え合い活動が形となり始めている。生産年齢人口の減少等により、介護の担い手が減少する中で、高齢者の社会参加等による介護予防や重度化防止を推進し、地域で支え合い、生活できる体制を作ることには益々重要と考える。第9期介護保険事業計画の重点施策として、高齢者ひとり一人が生きがいや、役割を持ち、助け合い暮らすことができる社会の形成を目指し、高齢者の自立支援や介護予防重度化防止の推進を図るための検討を進めている。

## 【虹の家の運営について】

**問** 経営状況と課題は。

**答** 虹の家の直近3年間の収支状況は、令和2年度は、約1,800万円、3年度で

1,300万円、4年度でも1,000万円の収支不足となっており、年々不足額は減少しているが、依然として収支額の不足が生じ、不足分には、基金を取り崩して対応している。なお、昨年度に引き続き積極的な利用者の受け入れと、稼働率の向上に取り組んだ結果、令和5年4月から10月までの入所系の利用者数は延べ9,973人となり、昨年同期を538人上回る状況である。また、利用者の増加に伴い、収入も、昨年

同期を417万円上回る1億348万円余となつている。一方、歳出は、特に市立大町総合病院への管理委託料が第1四半期で、昨年を346万円上回る3,462万円余となり、人件費や燃料費、光熱水費等も、昨年同期を581万円上回る6,493万円余となつている。施設運営経費の増は、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、原油価格等の高騰による、日常生活用品等の値上げが大きな要因となつている。引き続き、健全な運営を目指して、利用者の積極的な確保による稼働率の向上と収益の確保に努める。

矢口 稔議員（池田町）

## 「広域消防の課題と今後のあり方について」

### 問

広域消防本部の人員配置基準は。

### 答

市町村の消防行政の責任は、消防組織法に規定され、いずれの市町村でも、住民が安全で安心して生活できる統一的な消防体制の確立が求められるため、「消防力の整備指針」に必要な施設及び人員の目標とすべき整備水準が定められている。

当消防本部でも、消防力の整備指針を基に管内市町村の区域の人口や消防対象物などの状況と、地域の特性、また、出動件数等を勘案し地域の実情に即した消防体制を整備している。各署における人員配置は、指針に定める基準により、当本部は消防隊員と救急隊員を兼ねて配置することが可能であり、救急自動車1台につき3人

となることから、各署に救急自動車の配置台数に応じ人員を配置し、これに当直司令と1、2名の消防隊員数を加え、即応体制を確保している。また、配置基準の見直し等は、現在の配置が適正と考えるが、今後の人口推移や出動件数の動向を見極めながら、総合的に判断したい。

### 問

人手不足時代への対応及び職員の待遇改善は。

### 答

火災出場では、いずれの署でも全隊員出場が原則であり、職員が不在となる署は、非番職員が参集するまでの間は施設し、一般電話も通信指令室に転送される。また、救急車の同時出動が必要な場合は、隣接する消防署からの同時出場等により対応している。県消防防災航空隊等への長期派遣には、採用計画において前倒し採用を実施するなど、適切に対応し実働人員に影響が生じないよう配慮している。県下消防本部でも、職員採用試験の受験者の減少や若年層職員の早期退職なども心配されており、当消防本部では、総務省消防庁の就活支援サイトへの情報の掲載をはじめ、SNSでの情報発信や公務員合同就職説明会等への参加など、人材確保に努めている。

職員の待遇改善については、消防職員は、団結権等の労働三権が一切認められていない為、代替措置として、消防組織法第17条に基づき消防職員委員会の実施が義務づけられている。職員は委員会に対し、給与、福利厚生など勤務条件に関することや被服、装備品に関することや及び消防の用に供する設備、機械器具に関することな

ど、大きく分けて3つの項目について意見を提出できる。委員会での審議結果で、実施が適当とされた提案には、早期の対応を検討し、職員の待遇や職場環境の改善に努めている。引き続き、現在工事が行われている感染症防止対策のための各署の仮眠室個室化等の工事など、設備面の改修のほか、今後も現場の安全管理や、ハラスメント対応などの労働安全衛生研修への職員の派遣など、安全で働きやすい職場環境の構築に心がける。

### 問

広域消防の今後のあり方は。

### 答

消防は、住民の生命、身体及び財産を火災等から守るといふ責務を全うする重要な使命がある。一方で、管轄区域の人口10万人未満の小規模な消防本部では、出動体制や保有する消防用車両、専門要員の確保等に限界があることや、組織管理や財政運営面での厳しさが指摘されており、国は平成18年に制定された市町村消防の広域化に関する基本指針において定められた消防広域化の推進に継続的に取り組んでいる。人口減少社会を迎え、財政運営面で一層厳しさが増すことが予想され、県内でも通信指令業務の共同化などの動きがあるが、一方で、県内での消防広域化の議論は、現在休止という状況にある。

今後は、国の消防行政に対する考え方や社会状況を注視し、当圏域の特性に合った消防力を維持するために、設備面では効率的な設備更新に努め、職員管理では、風通しがよく働きやすい職場環境の構築に取り組む。



# 2月定例会開催

令和6年2月7日・8日に開催された2月定例会では、報告案件4件、条例案件2件、予算案件9件の計15件の議案が提出され、すべて承認・可決されました。

## 専決処分の報告について

- ▼一般会計（第3号）
  - ▼介護老人保健施設事業特別会計（第4号）
  - ▼介護保険事業特別会計（第3号）
  - ▼老人福祉施設等事業特別会計（第3号）
- いずれも令和5年人事院勧告に伴う人件費補正

## 条例制定・改正について

- 次の条例の一部改正を行いました。
- ▼北アルプス広域連合介護保険条例の一部を改正する条例制定
  - 第9期介護保険事業計画期の介護保険料について、関係部分の改正。
  - ▼北アルプス広域連合手数料条例の一部を改正する条例制定
  - 危険物貯蔵施設の設置許可に関する手数料について、国の省令改正に伴う改正。

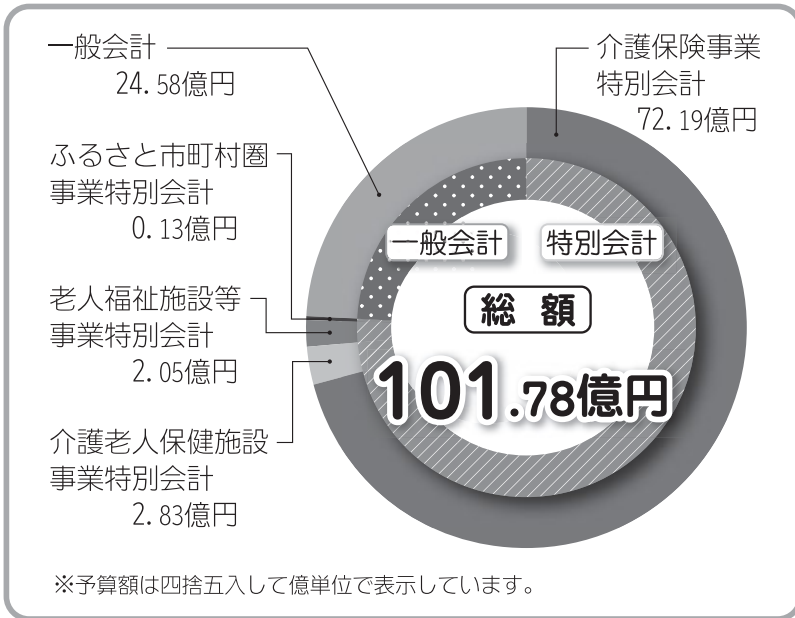
## 令和5年度補正予算について

- ▼一般会計（第4号）
- ▼ふるさと市町村圏事業特別会計（第2号）

- ▼介護老人保健施設事業特別会計（第5号）
  - ▼介護保険事業特別会計（第4号）
- いずれも事業実績見込みに基づく補正

## 令和6年度当初予算について

一般会計と4つの特別会計の総額約101億7,848万円の予算が可決されました。広域連合予算全体としては、大町市環境プラント焼却棟解体撤去工事が終了することなどにより、令和5年度予算と比較して、4億603万円、3.8%の減となりました。

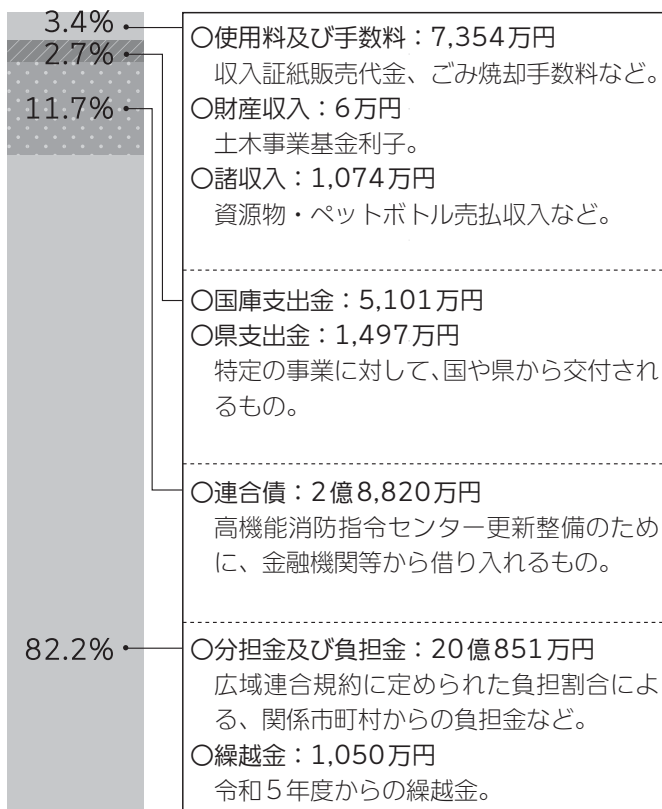


会計名称	当初予算額 (単位：万円)	前年度比	概要
一般会計	24億5,753万円	△15.5%	一般廃棄物処理施設北アルプスエコパークの管理・運営、北アルプス広域葬祭場の管理・運営、消防・救急活動、土木事業に係る設計・積算、情報処理システムの共同設置・管理等の業務を行います。
介護保険事業特別会計	72億1,948万円	0.4%	介護サービスに対する給付など、介護保険の保険者として、介護保険事業の運営を行います。
介護老人保健施設事業特別会計	2億8,287万円	5.3%	市立大町総合病院に併設する介護老人保健施設虹の家の運営を行います。
老人福祉施設等事業特別会計	2億545万円	8.8%	養護老人ホーム鹿島荘・グループホームひだまりの家の運営を行います。
ふるさと市町村圏事業特別会計	1,315万円	△55.8%	ふるさと市町村圏基金を活用し、市町村の地域振興イベントへの補助、広報紙の発行等を行います。

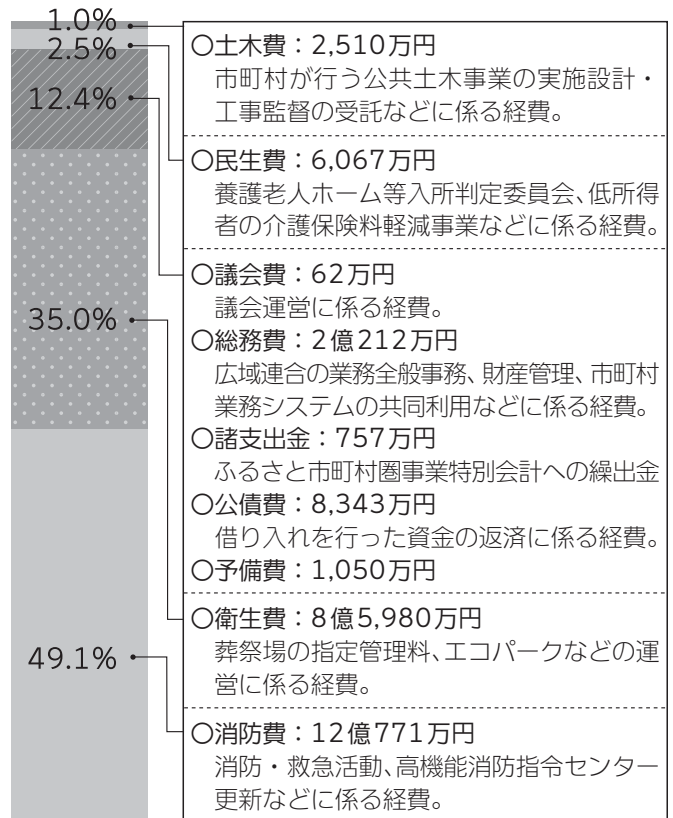
# 一般会計

総額 24億5,753万円

## 歳入



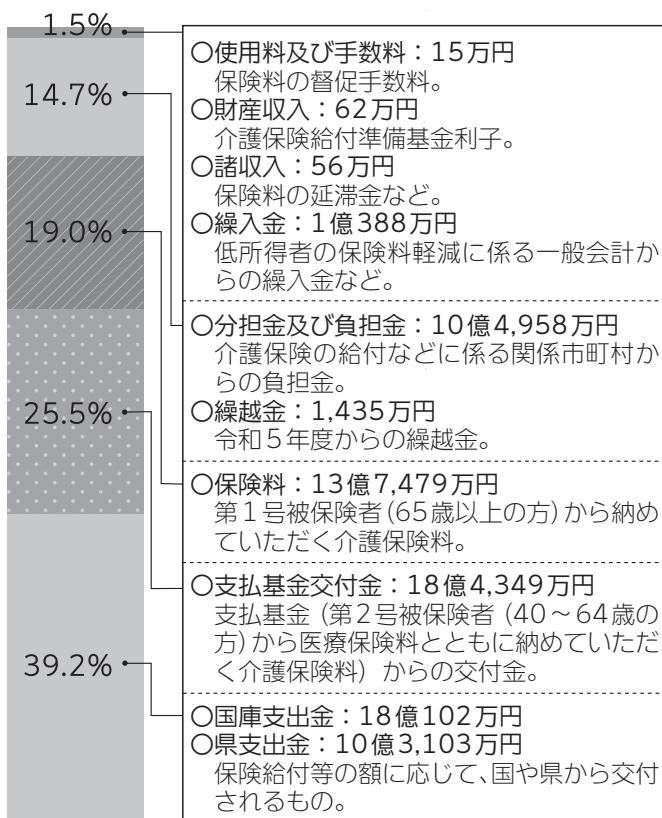
## 歳出



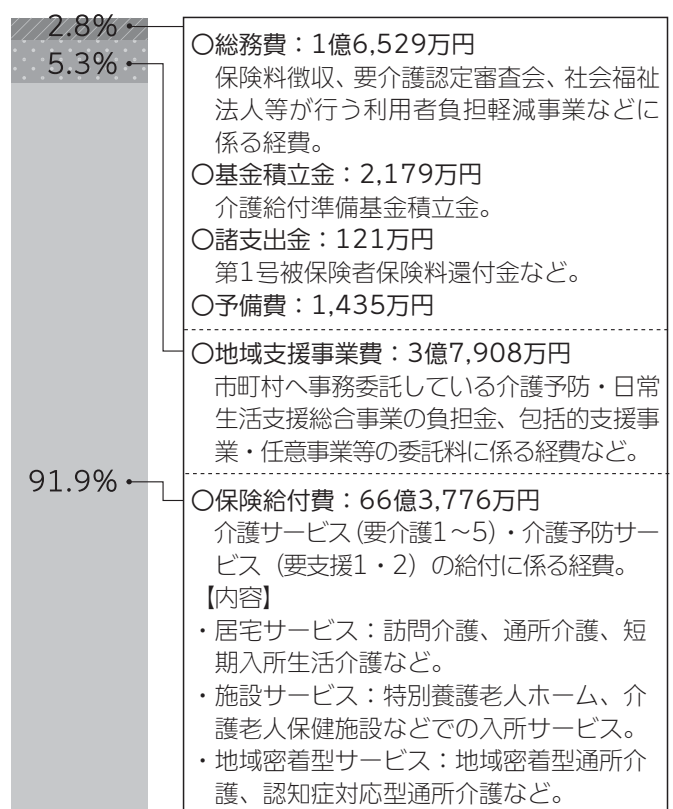
# 介護保険事業特別会計

総額 72億1,948万円

## 歳入



## 歳出



※各予算額の四捨五入の関係から、歳入歳出の合計は総額と一致しません。

## 消防

# 広域消防からのお知らせ

## 大町消防署新消防ポンプ車を更新

大町消防署では、水槽付消防ポンプ自動車を更新し、2月1日より運用開始となりました。

旧車両は、平成15年より運用が開始され、長期にわたり、災害対応をしてきましたが、老朽化により更新となりました。

新車両のデザインは、以前導入されたはしご車及びポンプ車のデザインを踏襲しています。

また、車両の特徴として、消火用水の積載量が旧車両の1500ℓから倍の3000ℓとなったことに加え、各種資器材収納庫、ホースカーを搭載するとともに、一般・油火災に対応するための泡消火混合装置を装備しており、近年増加している高気密高断熱住宅に対しても、有効な消火活動が期待できます。



新しい消防ポンプ車

これから暑  
員一同、新車両と  
共に住民の皆様  
のために日々訓  
練に励んで参り  
ます。空気の乾燥  
する時期ですの  
で火気の取扱い  
には十分注意し  
てお過ごしくだ  
さい。

## 施設

# 北アルプスエコパーク からのお知らせ

「ごみに混ぜると危ない！」シリーズ1

可燃ごみに金属類が入ると焼却設備の故障の原因に！

【大町市・白馬村・小谷村の皆様】



可燃ごみに入っていた金属類の一部

北アルプスエコパークでは、搬入される可燃ごみに処理不適物がないか定期的に「展開検査」を行ってまいります。不適物として検出される中でも、特に多いのが「金属類」です。

可燃ごみに混入された金属類は焼却できずに燃え残り、焼却設備の故障等の原因になります。設備の故障修理には多くの時間と費用がかかります。ごみの処理が滞り、受入停止となった場合、多大なご迷惑をおかけすることになります。

ごみを排出する際には、お住まいの市村の分別区分に従い、適正な分別にご協力をお願いします。特に、金属類は「金属専用の指定袋」に必ず入れるようにお願いします。

## 介護

# 介護保険に関する お知らせ

第9期介護保険事業計画がスタートしました

令和6年度から令和8年度の3年間にわたる介護保険事業の運営について、住民を含む25名で構成される「介護保険事業計画作成委員会」において、第9期介護保険事業計画を作成いたしました。

計画では、これまでの取り組みや今後の介護保険を取り巻く状況を踏まえ、高齢者の皆様が住み慣れた地域で可能な限り、安心して、自分らしく暮らし続けられるよう、医療・介護・行政、そして地域住民が連携して支える仕組みである「地域包括ケアシステムの深化・推進」を基本目標に位置付け、様々な施策に取り組むこととしています。

本計画書の概要版は、令和6年3月に各市町村の広報とともに、各戸に配布をしています。内容にご不明な点等がありましたら、北アルプス広域連合介護福祉課までお問い合わせください。



第9期介護保険事業計画書  
(概要版)



# 北アルプスエリア Green Season EVENT CALENDAR

詳しくは、各市町村または各市町村の観光協会・観光局・観光連盟等へお問い合わせください。 《市外局番 0261》

4月	4月15日(月)	立山黒部アルペンルートオープン 大町市プロモーション委員会 ☎23-4081	立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口である扇沢駅にてオープニングセレモニー開催。
	4月27日(土)～ 6月23日(日)	日本山林美術協会 安曇野展 ～日本の自然を讃う画家たちの証～ 北アルプス展望美術館(池田町立美術館) ☎62-6600	協会会員の日本画、版画、洋画を一堂に展示します。
	4月27日(土)～ 5月6日(月・祝)	GREEN HAKUBA 白馬村観光局 ☎72-7100	オープニング花火・塩の道祭り・こどもの日イベント・Clean Act.などイベント盛りだくさんです。
5月	5月3日(金・祝)	第45回塩の道祭り 小谷村観光連盟 ☎82-2233	毎年5月3日に開催される春の一大イベント。建築物や石仏など歴史を感じるものが多く残る千国越えコースを楽しめます。
	5月5日(日・祝)	塩の道湖畔ウォークとフォトコンテスト 大町市観光協会 ☎22-0190	大町市の塩の道周辺を楽しむウォーキングイベントを開催。イベント参加者限定のフォトコンテストも同時開催。
	5月12日(日)	いわさきちひろが愛した安曇野まっかわ北アルプス パノラマウォーク春 松川村観光協会 ☎62-6930	絵本画家いわさきちひろがスケッチしたポイントや村の史跡などを地元ガイドの案内で巡るウォーキングイベント。(有料・要予約)
5月18日(土)	第15回いけだまち北アルプス展望ウォーク 池田町観光協会 ☎62-9197	今年で15回目を迎える北アルプス展望ウォーク 5km、10km、20kmのコースを用意しています。(参加特典付き 参加料1500円)	
6月	6月上旬	梅池自然園開園祭 おたり振興公社 ☎82-3053	梅池自然園は、標高1900mに位置する高山植物が見られる国内屈指の高層湿原です。梅池自然園の開園に合わせて催しが行われます。
	6月2日(日)	第67回針ノ木岳慎太郎祭(夏山開き) 大町市観光協会 ☎22-0190	近代登山の先駆者として語り継がれる百瀬慎太郎の業績を讃え、夏山の開山祭として針ノ木大雪渓で祭典、記念登山や植物観察を行います。
	6月15日(土)	木崎湖湖水開き地引網と水上トレッキング 大町市観光協会 ☎22-0190	新緑の中、地引き網にチャレンジし、湖畔をゆっくり歩いた後はモーターボートで爽快に湖上散歩。
7月	7月6日(土)～ 8月25日(日)	超老芸術展in池田町 北アルプス展望美術館(池田町立美術館) ☎62-6600	高齢になってから、若しくは高齢になってもなお独自の表現活動を続ける人たちの豊かな表現をお楽しみください。
	7月27日(土)	トットちゃんの夏祭り 安曇野ちひろ公園 ☎85-8822	黒柳徹子・著「窓ぎわのトットちゃん」にちなんだ夏祭りを開催。昔ながらの遊びやステージイベント、マルシェなどを開催予定。
	7月27日(土) 28日(日)	信濃大町若一王子祭り 若一王子神社 ☎22-1626	県無形民俗文化財である子ども流鏝馬・舞台行事・稚児行列など行います。
8月	8月3日(土)	第46回大町やまびこまつり 大町やまびこまつり実行委員会 ☎22-0420(内線543)	市民が「連」をつくり「やまびこ音頭」と「やまびこサンバ」に合わせて踊る。歩行者天国となり、様々なイベントも開催されます。
	8月3日(土)	松川ふるさと祭り 松川ふるさと祭り実行委員会 ☎62-3109	ふるさとを愛し、より良い郷土づくりを目指す松川村最大のイベント。ステージイベントや模擬店、正調安曇節など開催予定。
	8月13日(火)	池田町松川村合同 高瀬川納涼大花火大会 池田町商工会 ☎62-5085 松川村役場経済課 ☎62-3109	池田町と松川村が合同で開催する花火大会。尺玉やスターマインなどの花火が夏の夜空に打ち上がります。
	8月15日(木)	第38回白馬の夏祭り 白馬の夏祭り実行委員会 ☎72-4755	夏恒例の夏祭り。キッチンカーや地元有志による出店などがあります。
9月	9月上旬予定	北アルプス三蔵呑み歩き 北アルプス三蔵呑み歩き実行委員会 ☎23-7511	大町市内の3つの酒蔵の地酒が楽しめます。
	9月7日(土)～ 10月20日(日)	安曇野キルト公募展2024 北アルプス展望美術館(池田町立美術館) ☎62-6600	小島孝子と女子美術大学同窓展も同時開催しています。数多くのハイレベルのキルト作品、若手作家の注目の作品をぜひお楽しみ下さい。
	9月～10月	梅池自然園紅葉ウィーク 小谷村観光連盟 ☎82-2233	梅池自然園では、例年9月から10月中旬にかけて紅葉が見られます。白馬三山が冠雪する時期には、雪と紅葉、針葉樹の緑による三段紅葉が楽しめます。
10月	10月20日(日)	第41回大町アルプスマラソン 大町アルプスマラソン実行委員会事務局 ☎22-7664	小学生以上であれば誰でも参加できる3km・3kmペアのほか、日本陸上競技連盟公認コースを走るフルマラソン・ハーフマラソン・10kmと種目も豊富。
	10月26日(土)	秋の塩の道湖畔ウォークとフォトコンテスト 大町市観光協会 ☎22-0190	5/5開催と同様のイベント。大町市の塩の道周辺を楽しむウォーキングイベントを開催。イベント参加者限定のフォトコンテストも同時開催。
	10月下旬	北アルプス山麓・りんごの小径 ウォーキング 秋 松川村観光協会 ☎62-6930	地元ガイドの案内で秋の松川村川西地区を歩きます。りんご狩りやりんごジュースなどお土産付き。(有料・要予約)
	10月～11月	おたり新そば祭り 小谷村観光連盟 ☎82-2233	村内数店舗で新そば粉使用のお料理をご提供。お食事をして貰えるスタンプを集めて応募すると、抽選で豪華景品が当たります。
11月	11月上旬	2024米蔵日本酒まつり 米蔵日本酒まつり実行委員会 ☎62-3109	県内有数の酒米生産地、米どころ松川を象徴するお祭り。県内各地の酒蔵から自慢のお酒が集まります。(要入場券)
	11月3日(日・祝)	第9回OMACHIロゲイニング 大町市観光協会 ☎22-0190	起伏の激しい山道から、古き良き町並み、雄大な北アルプス、秋の田園風景など、大町市の魅力を存分に楽しめるロゲイニング大会。
	11月9日(土)	絶景の北アルプスと秋・塩の道ウォーク ～国宝仁科神明宮と文化史跡コース～ 大町市観光協会 ☎22-0190	大町市の南に位置する国宝仁科神明宮から塩の道を信濃大町駅まで歩くウォーキングイベント。ガイドの説明付き。

イベントが急遽変更、中止となる場合があります。

開催の可否等、事前にイベント主催者へお問い合わせをしてからご参加ください。